

豊田自動織機 第七次環境取り組みプラン（2021～2025年度）

項目	取組み方針	実施事項、目標	貢献するSDGs												
脱炭素社会の構築	生産活動におけるCO2排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・低CO2生産技術の開発・導入 ・日常改善活動のやりつくり ・クリーンエネルギーの積極的導入 [CO2排出量の削減] <table border="1"> <thead> <tr> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>2025年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グローバル</td> <td>総排出量</td> <td>2013年度比25%減</td> </tr> </tbody> </table> [再生可能エネルギーの導入] <table border="1"> <thead> <tr> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>2025年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グローバル</td> <td>導入率</td> <td>15%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2以外の温室効果ガスの管理 	範囲	項目	2025年度目標	グローバル	総排出量	2013年度比25%減	範囲	項目	2025年度目標	グローバル	導入率	15%	  
	範囲	項目	2025年度目標												
	グローバル	総排出量	2013年度比25%減												
範囲	項目	2025年度目標													
グローバル	導入率	15%													
生産物流におけるCO2排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・モーダルシフトや積載効率の向上等による輸送効率の改善 [物流CO2排出量の削減] <table border="1"> <thead> <tr> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>2025年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単独</td> <td>排出量原単位*1</td> <td>2013年度比11%減</td> </tr> </tbody> </table>	範囲	項目	2025年度目標	単独	排出量原単位*1	2013年度比11%減								
範囲	項目	2025年度目標													
単独	排出量原単位*1	2013年度比11%減													
製品技術開発によるCO2排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー効率のさらなる向上に寄与する技術開発 ・電動化に対応した製品技術開発 ・軽量化技術の開発 ・エネルギーロスの削減 ・水素社会に向けた技術開発 														
循環型社会の構築	生産活動における資源の有効活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・歩留り向上などの発生源対策 [廃棄物排出量の削減] <table border="1"> <thead> <tr> <th>範囲</th> <th>項目</th> <th>2025年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単独</td> <td>排出量原単位</td> <td>2013年度比12%減</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・各国、各地域の水環境事情を考慮した水保全活動の推進 ・梱包用資材の使用量削減 	範囲	項目	2025年度目標	単独	排出量原単位	2013年度比12%減	  						
	範囲	項目	2025年度目標												
単独	排出量原単位	2013年度比12%減													
資源を有効に利用するため、3R設計（リデュース、リユース、リサイクル）への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化による、資源使用量削減 ・標準化、モジュール化、部品点数削減による資源使用量削減 ・小型、軽量化による資源使用量削減 ・部品、素材のリユース、リサイクル推進 														
自然共生社会の構築と環境リスクの低減	生産活動における環境負荷物質排出量の一層の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な生産活動の推進によるVOC*2などの環境負荷物質のミニマム化 													
	各国・各地域の都市大気環境改善に資する排出ガス削減	<ul style="list-style-type: none"> ・規制を先取りしたエンジンの開発 													
	製品含有化学物質の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・製品含有化学物質の調査、SVHC*3などの有害物質の切替管理 													
	生物多様性への取り組み強化	<ul style="list-style-type: none"> ・各工場の特徴を活かし、地域の生物多様性保全に寄与 ・地域関係者・有識者を巻き込んだ活動推進、従業員への理解浸透 													
環境マネジメントの推進	連結環境マネジメントの強化、推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各国、各地域の環境関連法の遵守 ・リスク低減活動の強化による環境異常の未然防止 ・各国、各地域でトップレベルのパフォーマンスの達成 													
	意識啓発活動と教育の充実化	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル環境宣言の実現をめざして知識/意識を高め、自発的な行動を促進 													
	ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン調達ガイドラインに基づく、法順守の徹底、および環境パフォーマンス向上の推進 													
	環境ブランドイメージの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の積極的な情報開示によるブランドイメージの向上 													

*1：事業毎に生産量や売上高あたりの排出量を原単位として管理しており、それらの削減率の加重平均値を指標として管理。

*2：Volatile Organic Compoundsの略。揮発性有機化合物。

*3：Substances of Very High Concernの略。高懸念物質。